

—平成26年度 避難所運営委員会設置支援事業—  
「避難所開設・運営検証訓練実施報告書」

「避難所運営委員会設置支援事業」趣旨・目的

近年発生した地震災害では、行政の庁舎、職員も同時に被災し、その後の避難所の開設が遅れるなどの事象が報告されています。

本市では過度に行政に依存しない自治会等の連携による避難所の運営体制の構築を目指し、市、施設、地域で構成する避難所運営委員会を組織し、避難所運営委員会が主体となった避難所の開設、運営を目指します。

《訓練概要》

1. 東中学校

日時 平成26年6月21日（土）13時から22日（日）9時まで

場所 座間市立東中学校 体育館及びグラウンド

特徴 地域（自治会）と学校の連携により実施され、避難所開設・運営訓練のプロットタイプとして先行して行われた。午後から明朝までの宿泊型とした。

2. 東原コミセン

日時 平成27年2月1日（日）9時から16時まで

場所 東原コミュニティセンター及び東原2号公園

特徴 狭小な施設での避難所展開、隣接する公園などを利用して開設訓練を行った。

3. 西中学校

日時 平成27年2月14日（土）9時から16時まで

場所 座間市立西中学校 体育館及びグラウンド

特徴 東中学校の訓練をモデルとして宿泊を伴わない開設訓練と防災・減災講座を実施した。

4. 相模野小学校

日時 平成27年2月21日（土）9時から13時30分まで

場所 座間市立相模野小学校 体育館、北校舎及びグラウンド

特徴 広野台地区の自主防災会の避難訓練に位置づけて行われ、開設訓練のみを短時間で行った。

※同じ目的の訓練であるものの地域の事情に合わせ、宿泊、1日、半日の3タイプを行った。地域、会場の都合に合わせて柔軟に対応している。

## 《訓練までの道程》

- 東中学校避難所開設・運営訓練 平成26年6月21日（土）  
避難所運営マニュアルの検証、訓練内容の確認
- 災害対応基礎講座 平成26年6月28日（土）  
自助から共助までの災害対応
- 災害対応活動講座 平成26年7月20日（日）  
座間市の災害対策と図上訓練
- 災害体験型講座 平成26年9月27日（土）  
屋外での防災資機材体験と応急手当、炊出し体験
- 避難所運営委員会準備会 平成26年11月～27年2月  
各訓練実施避難所において、2回～3回開催。避難所運営マニュアルの策定と訓練内容について検討。
- 避難所開設・運営検証訓練 平成27年2月  
東中を除く各会場で実施

## 《訓練内容》

- 防災備蓄倉庫の開錠と資機材搬出  
訓練で使う資機材は原則として持ち込まず、備蓄倉庫にある資機材と施設にある備品で対応する。



- 避難所開設作業  
施設の安全チェックと避難スペースの清掃、レイアウト及び養生。



○ 給水訓練

非常用飲料貯水槽を開栓し、手押しポンプを接続して、炊出し用水として給水。



○ 仮設トイレ設置

防災備蓄倉庫内の仮設トイレを組み立てます。



○ 炊出し訓練

防災備蓄倉庫内から釜戸セットを搬出し、避難者が持ち込んだマキと学校にあった古新聞で着火

簡易炊飯袋 (ハイゼックス) で炊飯体験



○ 避難者の受入れ

市開設担当職員と避難所運営委員会が協力して避難者の受入れを行います。



○ 応急救護講座

○ 災害対応講座

ざま災害ボランティアネットワークによる災害時に役立つ講座を実施。



○ 訓練の振り返り

運営委員、職員による反省会

